



日本のまちかど

歴史の香り漂う下町

懐かしさの向こうに 新しい都市の息吹が

向島界限

江戸期以来、風流な行楽地として知られてきた向島。隅田川の川向こうなので「向島」の名がついたともいわれていますが、徳川三代目将軍家光の頃、木母寺のあたりにあったお屋敷「隅田川(関屋)御殿」のお庭を幕府が向島と呼んだことにはじまるというのが本当の由来のようです。以後、江戸期を通じて、この地は、狂歌師大田南畝や絵師酒井抱一などの文人墨客に愛されました。ちなみに、いままも名勝の地である「向島百花園」は、そうした文人墨客たちのサロンとして親しまれ、「百花園」という名も抱一によって命名されたのです。

明治期になると、賑わう向島の料亭には芸妓が登場するようになり、大正期から昭和初期にかけて向島の花柳界は全盛を極めるようになります。昭和15年には芸妓は13000人を数え、さらに近くに玉ノ井、戦後は鳩の街といった色街も生まれ、「粋」な遊び場として東京の人気を集めました。

とりわけ玉ノ井は、永井荷風の『墨東綺譚』などの文学作品によって向島の歴史に名を残すこととなります。江戸の情緒をこよなく愛した荷風にとって向島界限は、急速に近代化してゆく東京にあつて江戸の粋を偲ばせてくれる貴重なまちだったに違いありません。

UR都市機構の情報誌・ユアールプレス

UR PRESS

vol.20
Summer
2009

CONTENTS

02 日本のまちかど
歴史の香り漂う下町 向島界限
懐かしさの向こうに 新しい都市の息吹が



05 特集対談 **Think Now** 第1回
これからのニッポンの都市
景気対策は「街」の活性にあり!
東京大学大学院 経済学研究科 教授 伊藤 元重 × 作家 幸田 真音



11 経済講座 第1回
新しいニッポンのかたち
経済アナリスト 森永 卓郎

13 *TownScope* タウンスコープ 第1回
海、川、湖、そしてお濠 ——
水の風景がひろがる街、元気があふれる街。
スポーツキャスター 舞の海 秀平

15 Theひと —日本の技の匠—
「ものづくり日本大賞」受賞者を訪ねる
どんなかたちのものにも 華麗に印刷
第2回ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞受賞 (株)秀峰 代表取締役社長 村岡 貢治



17 URのしごと
曳舟駅前地区 (東京都墨田区)
押上・業平橋駅周辺地区 (東京都墨田区)



21 URからのお知らせ

22 編集後記